

# Vol.11

発行元：NPO法人22世紀  
八幡ルネッサンス協会  
八幡市八幡高畑 10-76  
TEL・FAX 075-981-6505  
発行：年4回

### 目次

八幡に生きる	… 1
弥生の至宝	… 2
「憩いの場」が誕生	… 4
やわたしぜんだより	… 6
八幡巡礼	… 8
宗教と社会	… 9
八幡の芸能	… 10
八幡 俳句歳時記	… 11
俳句を作ってみませんか	… 12
八幡で高齢者が生きる	… 13
八幡の歴史	… 15
省エネ・再エネの利用を	… 18
市民サロンのお知らせ	… 20
編集後記	

## 八幡に 生きる

### 人生は六〇からが おもしろい！

小山茂子



昭和9年（1934）に京都市の太秦に生まれました。戦後女学校を卒業し、石川県金沢市で姉が美容院を開業していたことから金沢に行き、そこで6年間修業しました。金沢はいい所でしたが、曇り空が続き雨や雪も多いことから、26歳頃に大阪に出てきました。青空の下、ヒールで歩けることが嬉しかったので。大阪市玉出の美容院に住み

込みで2、3年働きました。夫と知り合い結婚。当時としては晩婚のほうです。美容師の仕事は続けたかったのですが、身籠った時に

転倒することがあり、幸いお腹の子は無事でしたが、それを機に子育てに専念するようになります。

当時の住まいは交通量が激しい所で、2歳の長男が活発に動きまわるには危険すぎるので枚方市の牧野に「疎開」してきました。ドーナツ現象といつて大阪市内から近郊に居住地が広がっていく時代です。牧野には30年ほど暮らすことになりました。

二人の男の子は小学校、中学校と進み、一人は大学を卒業するまでになります。その間、家は雨漏りがするようになりましたが、建て替えるより、新居に引っ越した方が楽だということで、男山吉井に越してきました。国道一号線が開通し、男山に団地が造成され、八幡が町から市に変わるころです。

### ◆つるし飾りの世界

子育てが終ると、趣味に熱中するようになります。女学校時代の同級生とは交際が続いていましたが、同じ趣味でいよいよ交流が濃くなってきました。その一つが「つるし飾り」です。

子どもの頃から割に手先が器用で、絵画や工作、裁縫も好きでした。そんなことから「つるし飾り」の世界に魅了されるようになるのです。

「つるし飾り」は、縮緬などの着物の布を裁ち、縫い合わせて作った細工物を紐でつなげて吊す飾り物です。女の子が生まれてお祝いとしたり桃の節句に飾ったりしたといわれます。九州柳川の「さげもん」、静岡稲取の「つるし雛」、山形酒田の「傘福」などが有名です。

細工物には雛人形や花、兎などの干支、海老や鯛、おしどり、風車など様々です。マニュアル本があり、型紙に合わせて布を裁ち、縫い合えば簡単に作れます。地域の文化祭に出品したり、近所の人が習いに来たりして楽しんでいきます。

### ◆陶芸にはまる

小学校の男の同級生に、信楽で陶芸に励む者がいました。その人がやっている姿を見て自分もやれそうだと思い、他の同性の友に声をかけ、毎月1回、15年間信楽に通いました。土を練り、ろくろで成型。窯で焼いて出来上がった器を見る時のドキドキ感は何ともいえません。

これまで壺や皿、椀、花入れなどの作品を創りました。信楽は遠いこともあってやめました。今は今では花を活けたり、お茶を淹れたりして楽しんでいます。

### ◆バトミントンと

#### 社交ダンス

幼い時から体を動かすことが好きで、牧野にいたときは、PTAのお母さんたちとソフトボールを楽しんだものです。屋外スポーツは天候に左右されることからバトミントンに変更。現在も生涯学習として続いています。また、社交ダンスは平成元年頃から始め、今も楽しんでいます。昨年からは3B体操にチャレンジ。85歳の手習いです。趣味の日々、生涯青春です。



## 式部谷銅鐸 (1)

濱田 博道

### ◆はじめに

旧八幡東小学校内にある八幡市立ふるさと学習館（八幡市八幡東浦5番地）には市内から出土した考古資料や市民から寄贈された民俗資料が整理・展示されていて、市民や児童・生徒が八幡の歴史を学習する貴重な場になっています。その2Fの展示室で、数ある考古資料の中央に位置し、ひととき大きく、優美な姿をみせている遺物があります。それが式部谷銅鐸です。



↑「八幡市ふるさと学習館」展示風景  
八幡市教育委員会提供

パネルには、

式部谷銅鐸 2世紀

(複製) 1962 式部谷遺跡出土

正木美術館蔵

豊作を祈ったり感謝するマツリに使われた。 全長約66cm

との説明があります。

この見事な銅鐸を見ると、今から1900年ほど昔、私たち八幡の先人が集落を営み、農耕を主とする豊かな生活を送っていた姿が想像されるとともに、この銅鐸がどんな場で、どのように使われていたのか、またこれほどの青銅をどこからどうやって手に入れ作ったのか、弥生人はどうやって銅鐸を持つまでに至ったのか、どうして地中に埋納したのか、そのときの八幡全体や人々の様子は？と興味がわき、古代へのロマンを駆り立てられます。

近年、第2京阪道路や新名神高速道路建設に伴う発掘で、八幡・美濃山地域の弥生時代後期の濃密な集落の様子が解明されつつあります（『第143回埋蔵文化財セミナー資料／弥生時代の住事情』京埋文セ2020）。これからその時代について銅鐸を中心にみなさんと一緒に考えてみたいと思います。

### ◆弥生の宝・式部谷銅鐸

ふるさと学習館にあるのは銅鐸の複製品ですが、この実物を所蔵している大阪府忠岡町の正木美術館のホームページでは式部谷銅鐸について、次のように説明されています。

#### 青銅製袷襷文鐸 弥生時代後期

弥生時代後期の農耕関係の祭儀に用いられた青銅製の祭器。あるいは一種の楽器とも推察される銅鐸の逸品。

その緑青の色つやと整った形と洗練された文様から二千年前の弥生人の製造技術のすばらしさと美的感覚の鋭さに現代を生きる私たちも心を打たれる。およそ50年前に京都は石清水八幡宮の南の丘陵地を宅地造成した際に偶然出土した。

高さ66cm、幅35cm、胴部には袷襷あじすゝと呼ばれる編み目文様が細かく刻まれ、上方に曲線の裝飾で見事な鈕ちゆう（つまみ）がついている。

※（ ）内は筆者

また、八尾市立歴史民俗資料館『銅鐸と古代のまつり』では、「この銅鐸は鱗はひれのほか鈕ちゆうにも耳飾（飾耳）をつけている。施文しもんも美しく、鍍上いかりが「もよい」と評されています。銅鐸は現在、全国で530個体余り出土し、うち60個体は国宝、数多の銅鐸が重

要文化財、府・市指定文化財になっており、式部谷銅鐸も共同体として生活していた八幡の弥生人の残した宝といえます。



→式部谷銅鐸（レプリカ）  
八幡市教育委員会提供

### ◆銅鐸はどこから出土した？

ふるさと学習館の説明に「式部谷遺跡出土」とありますが、式部谷のどこから出土したのでしょうか。その場所へ行ってみたいくなり、八幡市教育委員会発行の『八幡遺跡地図』（2005）にその出土場所が示されているので訪ねてみました。しかし説明板などでは見当たらず、このこという場所は特定できませんでした。そのあたりは現在、平らに整地され、住宅地になっていますが、出土した当時、銅鐸が埋納されていた場所はもう少し斜面で、現在の地面より数メートル高かったのではないかと想像しました。当時の古代史の本を調べてみると、式部谷銅鐸について、

「考古学ニュース」として載っていました。

〔銅鐸〕 出土地は、京都府綴喜郡八幡町清水井（現在は八幡市男山指月）で、生駒山脈の北端をなす男山の石清水八幡宮のある鳩方峯の南に続く標高80mの山頂附近である。詳しく云えば、同地の正法寺の真西の裏山にあたり、発見地は、この山の東に展開する平野に面した方ではなく、山頂から西北西にやゝ降った標高70mの傾斜地で、平野からは望むことの出来ない山かげであり北側の谷間から迂回して入って、やっとたどりつく場所である。（中略）発見当時はその地点の山腹がやゝぼみをもつていたようにいわれている。深さについては約2mということだが、機械力による発見であるため明確ではない。現在は岩盤が露出している。当時の状況として唯一推定しうることは、遺物における錆の部分的変色から、ひれを上下にして横に倒した状態で埋められていたということである。〔古代文化 第9巻3号〕古代学協会1962）

また、付近の斜面から弥生時代後期の土器も出土しているとのことですが、この付近一帯は式部谷遺跡と呼ばれています。



↑銅鐸出土推定地地図 上が北



↑男山三中付近より東を撮影 右が北

◆弥生時代の始まりとその範囲

式部谷銅鐸は弥生時代後期の製作ですが、弥生時代の始まりと考える方についてはこの数十年間に大きく変化しましたので、まずそのことを考えてみましょう。それは例えば『広辞苑』の「弥生（式）時代」の項目を引いてもわかります。（右下表）

今、高校生用の日本史学習資料（『図説日本史通説』帝国書院2015）では、弥生時代の始まりを紀元前10世紀とする説が紹介されています。

（下図）

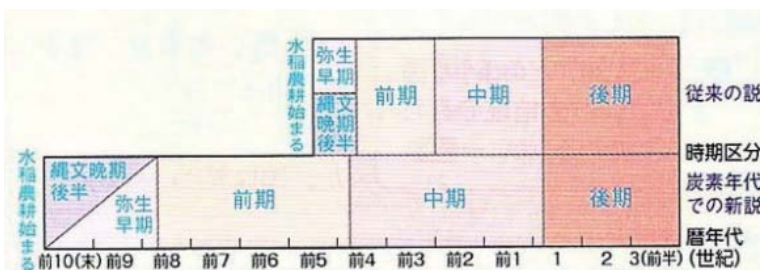
1964年版 弥生式時代…縄文式時代につぐ弥生式土器を標識としたわが国最初の農耕文化時代。2世紀から数世紀。金石併用時代。（後略）  
1991年版 弥生時代…縄文時代の後、古墳時代の前の時代。その開始の標識を弥生土器の出現とする考え方と、稲作の開始とする考え方とがある。紀元前5〜4世紀頃から後3世紀頃まで。（後略）  
2009年版 弥生時代…縄文時代の後、古墳時代の前の時代。その開始の標識を弥生土器の出現とする考え方と、稲作の開始とする考え方とがある。紀元前8〜7世紀頃から後2〜3世紀頃まで。大陸文化の影響を受けて水稲耕作や金属器の使用が始まり、銅剣・銅矛・銅鐸などの青銅器と共に鉄器も用いられる。普通、前・中・後の3期ないしI〜Vの5期に分ける。

これは、2003年、国立歴史民俗博物館（千葉県佐倉市）が北部九州の板付（福岡市）・夜臼遺跡（福岡県糟屋郡）等の水田跡遺跡等の土器についた炭素年代で年代を調べた結果、最古の土器は紀元前10世紀にさかのぼるとの見解を発表したことから始まり（朝日新聞2003年5月20日朝刊）。この説は現在、研究者間でまだ統

一見解とはなっていないませんが、放送大学の「考古学」講義で採用され、京都大学大学院文学研究科・伊藤淳史教授や多くの研究者もその見解を取り入れてきており広がりを見せています。

以上のことからここでは、弥生時代前期Ⅱ紀元前8世紀〜紀元前4世紀後半、中期Ⅱ紀元前4世紀後半〜紀元後1世紀前半、後期Ⅱ紀元後1世紀前半〜3世紀半ばとして、学習していきたいと思えます。

式部谷銅鐸は弥生時代後期、2世紀（初めごろ）の製作—銅鐸の時代としては終り頃の製作とされています。次回銅鐸の歴史について考えます。



## 大谷川沿い遊歩道に 「憩いの場」が誕生

渡部 一郎

大谷川（一級河川）の流域は比較的短く、そのためもあってか、集中豪雨時の増水は速く、道路すれすれの激流に急変し、恐怖を感じるものがしばしばあります。

増水時の大谷川の排水は自然放流ではなく、木津川も増水すれば、主に排水ポンプ（六機）による排水のため、このポンプに故障が生じれば、橋本地域や市街地も多大の被害を受けることになるのです。そんな特徴をもつ河川です。

### ◆平成八年頃の大谷川近辺の状況

この時代は、バブル時代の末期で、大量生産による大量消費の時代でもあり、使い捨ての時代でした。

転勤があれば家具類や布団が捨てられ、日常的にもタイヤや盗品と思われる單車や自転車が、大谷川や農業用水路に放棄されていました。河川や遊歩道の側壁には枯れた葦は人の背丈ほどもあり夕暮時は恐ろしいと思ふような風景でした。

そこで、ダメもとのつもりで投棄

されている粗大ゴミの回収について八幡市役所の環境保全課へ依頼したところ、大量にあった單車や自転車、布団等がその日のうちに回収されました。この地を自分達で出来得る限り美しくしようと心に決めた瞬間でした。

当時は、五年に一度ほどは川床の砂礫が取り除かれ、すっきりと整備されていたように思います。



### ◆五月会発起の動機と経過

ボランティア活動としての五月会代表は市村明三氏です。

活動の趣旨は、荒れた大谷川沿いに、藤棚やベンチ、タイル張の遊歩道を設置してもらい、市民にとって安らぎ、憩いの場としたいという目的を達成させたいとのこと。行政に要請するだけでなく、生い茂る葦や草木を伐採し整備することを決意されたとのことでした。

そこで、京都府山城北土木事務所と八幡市との協議を重ね、昭乗橋から大谷橋の間（八幡市八幡舞台）を中心に景観整備の契約を結びました。以降、人数は少ないながらコツコツと枯葦を刈り取り、土手を整備し始めました。通行人から「いつも美しくしてもらってありがとう！」と、感謝の言葉をもらうこともあります。

また、草刈り機の寄贈を受けたり時間に余裕のある人から「私に何かできることがありますか？」と、声をかけられたりすることもあり、草刈りやゴミ集め、樹木の消毒、剪定などの作業をしてくれる人も出てきました。

とりわけ、遊歩道の愛好者から桜の苗木の寄贈を受け、植樹したことにより、防賀川との合流地点から昭

乗橋にかけて桜並木がなくなり、今では立派な遊歩道になりました。

### ◆小さな憩いの場の誕生

こうして、市村氏の穏やかで人の気持ちを汲み取る性格は、清掃と美観を創造する取り組みの賛同者を増やし、遊歩道を通行人びとにとつて、いつしか集いの場を提供するようになっていったのです。



## ◆大谷川美観整備の課題

大谷川の美観整備をすすめるうえで、課題となることは何でしょうか。まず、地域住民を水害から守ることです。

そのためには、大谷川の川床浚いが必要です。川床の嵩高は毎年進んでいるからです。もし、木津川への排水機能たるポンプに故障が生じればと思うと、枕を高くして寝てられないのが市民の心情です。

その点から五月会の代表・市村氏は幾度となく川床浚いを願っています。古くから「災いは忘れた頃にやってくる」と言われていますが、今や「災いは忘れる前にやってくる」時代になっています。

次に、美観を保つうえで大事なことは、地域住民が自分たちの川に誇りを持ち、日常不断に綺麗にする心がけを持つことだと思います。

これは行政任せにできる事ではありません。地域住民のみなさんが自主的に清掃活動等に参加していただければ、きれいな河川が保たれ、河川とともに暮らす潤いのある日々が実現できるのです。

いま、河川の清掃に関わっているのは、60歳〜80歳代の高齢者が中心です。なにより若い後継者の参加が

望まれています。

老いも若きも、いつでも気軽にご参加ください。

五月会の清掃の申し込みは、市村明三（あきぞう）さんへ。

電話090・3821・7670



## 「やわたしぜんだより」が はじまる

『ぎずな』の新しい企画として、山村元秀さんに、「やわたしぜんだより」を担当していただくことになりました。八幡に生息する四季折々の草花や昆虫、鳥などを紹介してもらおうこととなります。次ページからがそれです。なお、著者に、「はじめに」と題して、抱負や内容などを綴っていただきました。

—編集部より

## ◆はじめに

三川合流域は、異なる環境の水系である桂川・宇治川・木津川という一級河川が交わる例のない水域であり、ボラ、アユ、モクグガニが毎年遡上しており、海浜性昆虫も確認されています。環境の異なる三本の河川、海とのつながり、さらに巨椋池という巨大な湿地が存在していたこと、石清水八幡宮の社寺林、市内中央部の田園地帯など様々な環境が八幡市に豊かな生物多様性をもたらせています。

しかし、木津川の環境の変化は大きく、多くの生物が姿を消しており、

特に水辺環境は大きく変わっています。30年前、堤防の近くはオギがあり、草地にはクズが繁殖するがヤナギが点在し、ヨシとスキの群落が広がり、ヤナギを中心としエノキやクワなどの河畔林が形成され、高水域にも起伏の大きな砂原が広がり、所々にたまりがありました。

今は、河床低下で水分が十分にいき渡らなくなったため、左岸ではほとんどのヤナギとエノキはなくなっています。イネ科が覆い尽くした雑草地に日光を遮るものがないため、夏にはクズ、カナムグラ、アレチウリなどが繁殖し、ヨシ群落も覆われている。樹木ではナンキンハゼ、ハリエンジュ、ニワウルシが増加しました。

近年の環境の大きな変化にともなう生物相の変化にもふれながら、男山の丘陵地と三川の河川敷という異なる生態系が隣接する八幡市は他に例のない自然と生物多様性の高い地域で、かけがえのない豊かな自然が残されていることを知っていただき、身近な自然に親しんでいただけたらと思います。

# たわなしぜんたよ

No.1 令和2(2020)年 春号

山村 元秀

## 名前を知ることから自然や生き物の世界が見えてきます

春の河川敷はセイヨウカラシナの群生で黄色く染まります。その後を紫色に染めるようになったナヨクサフジ。八幡市野尻の防賀川では、1月中旬からナヨクサフジが咲いていました。2月には同じ場所で大きくなったセイヨウカラシナを見つけ、温暖化の影響が顕著に見られるのに驚きました。

通勤や散歩など、これからはどこを歩いても多くの野草が花をつけています。そんな野草について関心を持って、少しずつ知っている野草を増やしていくと地域の植生や生き物、環境について知ることが楽しくなってきます。「草が生えている」と「ナズナとホトケノザが咲いている」では感じ方は大違いです。どの草にも名前があり、それを知ると自然はくっきりと見えてきます。

多くの種類が生えているのですが、関心を持って見ないとみんな同じに見えてしまいます。色に着目して「黄色い花を付けた野草探し」にチャレンジしてみると、タンポポだけではなくカタバミ・コメツブツメクサ・ノゲシ・オニタビラコの5種類が見つかります。虫眼鏡で花を観察してみると小さな花の肉眼ではわからなかった美しさや、複雑な作りに驚きます。今回は白い花・青い花・赤っぽい花など色で弁別して、目に止めることのなかった野草の不思議を見つけてみてください。

## 道端の野草花色検索表

	花色	種名		花色	種名
1	オレンジ	ナガミヒナゲシ	18	青色	キュウリグサ
2	ピンク色	アメリカフウロ	19	青色	タチイヌノフグリ
3	ピンク色	ヒルザキツキミソウ	20	赤紫色	カラスノエンドウ
4	ピンク色	ユウゲショウ	21	赤紫色	ヒメオドリコソウ
5	黄色	オニノゲシ	22	赤紫色	ホトケノザ
6	黄色	カタバミ	23	赤紫色	ムラサキカタバミ
7	黄色	オニタビラコ	24	白色	オオバコ
8	黄色	コメツブウマゴヤシ	25	白色	オランダミミナグサ
9	黄色	セイヨウタンポポ	26	白色	シロツメクサ
10	黄色	ノゲシ(ハルノゲシ)	27	白色	タネツケバナ
11	黄色	ハハコグサ	28	白色	ナズナ
12	褐色	チチコグサ	29	白色	ノミノフスマ
13	褐色	ヨモギ	30	白色	ハコベ
14	紫色	カキドオシ	31	白色	ハルジオン
15	紫色	スズメノエンドウ	32	白色	ヒメジョオン
16	紫色	マツバウンラン	33	白色	ヤエムグラ
17	青色	オオイヌノフグリ	34	緑色	スズメノテッポウ



ヒメオドリコソウ



キュウリグサ



ナズナ



オオイヌノフグリ



タチイヌノフグリ



ハハコグサ



カラスノエンドウ

## ナナホシテントウ？



左の写真はよく知っているナナホシテントウです。では右の写真のテントウムシは何種類いると思いますか？

正解は1種類。どれもナミテントウといいます。ナナ

ホシテントウと同じくらいよく見かけるテントウムシですが、こんなに模様が違います。公園や草原でよく見かけるのは黒に赤い模様が2つあるものが多いようです。よく見かけるようになったので、探してみませんか。

(テントウムシは日本だけでも150種類以上いるそうです)



### テントウムシは鳥に食べられない？

テントウムシの体液には、野鳥が嫌うアルカロイドという成分が含まれているため、野鳥からは敬遠されている。たまに間違っ(？)食べてしまう鳥もいるらしいが、それ以後は二度と食べることはないとか。

### テントウムシは益虫(人の役にたつ虫)？

幼虫・成虫ともにアブラムシやカイガラムシなどを食べている。そのため、テントウムシは「益虫」とされ大切にされている。アブラムシやカイガラムシなどは、害虫とみなしているの、それらの害虫を食べてくれるテントウムシは「益虫」とされている。

### テントウムシの冬越し？

ナミテントウは成虫で冬を越す。10月下旬ころから人家・草の根もと・落葉や樹皮の下などに集まり、集団で冬眠をすることが多い。

### テントウムシのふしぎ



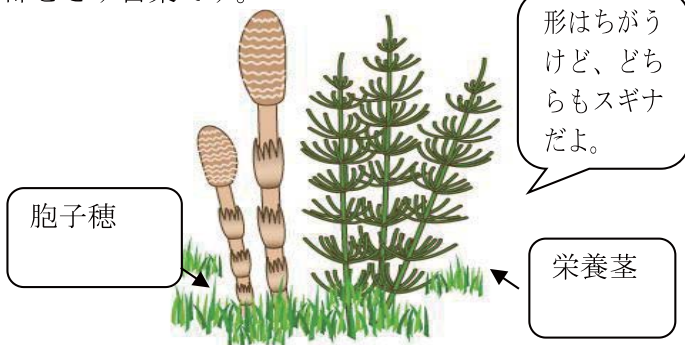
(幼虫) (サナギ)

### テントウムシの産卵と成長？

卵は、葉の裏に10~40個くらい一度にまとめて産む。数日で孵化し4回目の脱皮(だっぴ)でサナギになります。羽化直後は黄色い色をしていますが、翅を乾かすと、徐々に色が変化して模様が浮き上がってきます。

## ツクシとスギナの関係は？

スギナはシダ植物の一種です。花は咲かず胞子によって増えます。その胞子を付ける茎、胞子茎をツクシと呼びます。つまり、ツクシはスギナの一部をさす言葉です。



### シダ植物とは？

花も実もなく、胞子で増える植物です。コケと違い地上に茎を伸ばすことができるのがシダです。これはシダ植物の茎に水分や栄養を運ぶ維管束があり、それが身体を支えるからです。

### 植物・昆虫・野鳥・爬虫類両生類…身近な自然を観てみると

ヨシやオギなどの背の高い自然草が広がり、ヤナギなどの河畔林が広がる三川合流地と木津川の河川敷。竹林・シイ林・コナラ林がある男山や美濃山。社寺林のある石清水八幡宮。農耕地が広がる中央部。「やわたしぜんだより」では八幡のまちや木津川周辺の生き物について紹介させていただきます。

自然に触れ、その不思議さに心を動かされる体験は子どもだけではなく、私たちにとっても欠かせません。美しさ、神秘さにあふれる身近な自然に親しんでみましょう。

### ツクシはおいしい？

はかまをとりゆでて灰汁を抜けば食べられます。少し苦い味がしますが、穂が固くキュッとしまったものは美味と言われます。

### スギナから生まれる宝物

栄養茎の先に水玉が見られることがあります。これはスギナの水分が水孔という穴から出されたものです。ルーペで見るとガラス玉のような美しさです。

八幡巡礼  
イエスに会いに行く①

林政廣

◆八幡ぶどうの木教会のイエス

2016年2月、京都市在住、67歳の私は人生初、京阪樟葉駅に降り立った。目指す八幡ぶどうの木教会までバスで13分。少し前に京都市のある講座で知り合ったA氏に、ユニークな教会があると聞いての訪問だ。

私はキリスト教の洗礼を受けてはいるが、祖父の代から家は教会に属さない。創造主なる神、人類の罪をあがなうイエス、力の聖霊、これらを三位一体とはせず別個のものとし、よって処女受胎と復活も認めない。愛と正義に生きた人間イエスに深く帰依し敬う。

私の家は京都西賀茂の公家、醍醐家に仕えた。107代後陽成天皇の第9皇子昭良が一旦一条家を継いだ後、子の冬基が従兄弟にあたる靈元天皇より醍醐姓を下賜された公家だ。男系男子絶えず、現当主は皇位継承47位である。

醍醐家は数奇な歴史をもつ。10代忠順は初代大阪府知事を務めたが、二男忠敬が相続争いで甥に射殺され、

忠順が再相続、孫の忠重が8歳になるのを待つて家督を渡した。

このピンチ、妹の好子が昭和天皇妃(香淳皇后)良子の伯父の久邇宮邦憲に嫁いで救った。家を背負った若き忠重は、25歳で貴族院侯爵議員となったが、生涯を潜水艦の現場に奉げる決意をし、侍従武官をも辞して海軍中将、遂に第六艦隊司令長官へのぼりつめた。

しかし、太平洋戦争終盤の1944年6月に起きたボルネオでのポアンティアナック事件(現地人1400人虐殺)の咎でオランダによりB級戦犯に指名され、47年12月、ボルネオで処刑された。(古内一絵「赤道星降る夜」(小学館刊)のモチーフとなっている)

これらの動乱を見つめていたのが忠貞。忠重の叔父である。自由人、文化人で、米・欧の時代が来ると見越してキリスト教を研究し、教義を私の家に伝えた。

醍醐家は絶大で、平安初期以来の上賀茂神社の読経所を自領にし、自家の守護神、天照大御神を祀り、西賀茂村社大神宮とした。春先の病に供える花鎮めの祭は祇園祭につながる。

かくて忠貞のキリスト教認識はそ

の反動として「貴あれば賤あり」、万人平等と社会変革を夢想するラジカルなものになっていった。

その様な中で私の父は同志社教会のキリスト教講座を勧められ、洗礼を受けて社会運動に邁進していった。大正14年(父19歳)に忠貞から譲られた羊皮紙の文語訳聖書が私の家の家宝となっている。

父は妹にオルガンを弾かせて宣教もしていたらしい。晩年の母と散歩すると80代後半の人から、「あんとこの日曜学校に菓子目当てに行っとな。今もキリストさんか?」とよく話しかけられた。

戦況が激化する頃から父は売春防止法制定の運動に参加し、法成立の昭和31年(私8歳)までよく家を空けていた。

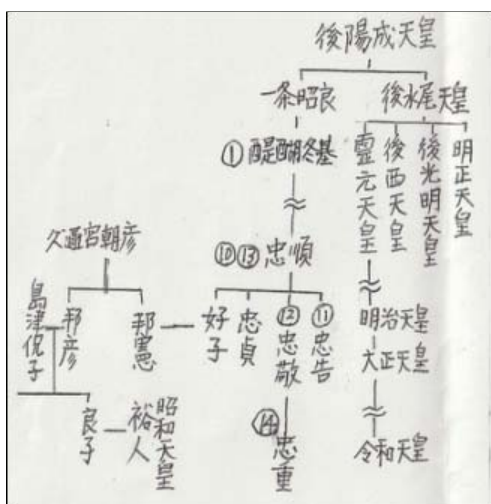
中学校教員になった私は、学校や教育の中にある不正義に敏感だった。教員になって25年目、父が他界。折しも学校五日制が始まった。京都市は「子どもを地域へ返す」と言ったが矛盾はいちばん弱い立場の子らに表れた。健常児は土・日を部活と塾通いに使ってバラ色。しかし、障害のある子らは放置された。

父の遺産と借金とで土地を買い、母と私は彼らの居場所をつくり、調

理と卓球を教えた。ところが、京都市は社会活動をしているからという理由で、住宅地と認めず、法外な固定資産税をかけてきた。不服申し立てをして、過払いの85万円を還付させるのに5年もかかった。

10年間の介護のあと母を見送り、私は八幡ぶどうの木教会に辿り着いた。教会員の志で設けた民家風教会、極めて敷居が低く入りやすい。

牧師はイエスのガララヤでの愛の活動を説き、イエスの正義、現政権の暴走を提示する。現世と歩む内向きでないイエスを慕う私は一気に魅了され、遠方を厭わず通い続けた。ここを基点に出会った八幡の人を以降に記していこうと思う。



# 宗教と社会

8

浄泉寺住職 大原 光夫

現代人は私も含めて「科学的思考が正しい」「論理・理屈が通っていないければならない」という環境で育ちました。「アイツはあんな非科学的なことを言うてるさかいあかんのや」と全否定されてしまう時代の中で成長してきたように思います。ところが、私も坊さんの世界にはいりまして五十年を超えました。すると、宗教の社会では「非科学的な」と指を差されることも、抵抗なく受け入れられることがわかりました。何故かと言いますと、宗教は「信じるか、信じないか」の世界なのです。科学的に実証したり、証明したりする必要は宗教にはありません。教えを理解してもらうために、科学的に実証されたものを活用する例はたくさんありますが、宗教の世界では実証の必要はありません。

その事例をいくつか紹介しましょう。

まず、キリスト教をみてみましょう。キリストの誕生をめぐる、「聖母マリアは処女懐胎をして誕生した」となっています。また、旧約聖書のに、

冒頭は「世界は暗闇であった。神は光あれと言われた光をして昼と言ひ、闇をして夜と言ふ、第一日目である。そして、六日間かけて天地を創造された」となっています。科学的には有り得ないことですが、世界の大概のクリスチャンは受け入れ、信じています。神社神道におきまして、古事記にあります通り、イザナギノミコトが「黄泉の国」よりこの世に戻り、沐浴をした。左の目を洗った。それから天照大御神が誕生し、天皇家の祖先となる。ここから、「万世一系」の歴史が始まったとなっています。ここには、科学の入る余地はありません。天理教の場合では「人間のもとは、ドジョウ(田舎にいる)であった」と教えられています。これはこれでよいわけです。極端な事例になると、「麻原彰晃が空中浮揚をした」と当時のオーム真理教の信者は本気で信じていました。

このようにみていきますと、二十七年ほど前、ローマ法王庁が「天動説を撤回した」と紹介しましたが、私は、撤回しないほうが良かったのではないかと思っています。何故かと言いますと、そうなれば、キリストの誕生をめぐる説明の白黒もつけなければなりません。ちなみ

仏教の世界観は天動説です。お経は天動説で展開されているのです。「お彼岸はお日様が、真東から出て真西に沈む」と説明します。これは天動説です。

話が少し逸れましたが、宗教の世界は科学の世界では否定されているものもふくめて容認され、受け入れられる世界なのです。

では、宗教と科学はどのように融合するのでしょうか。こういう言葉を残した人がいます。「科学のない宗教は迷信を生む。宗教のない科学は悪魔を生む。」

皆さんもよくご存知のアインシュタインです。アインシュタインは、ローマ法王庁による宗教裁判でブルーノの火あぶりの刑やガリレオガリレイに対する2回にわたる裁判で終身刑を課するなど、自然科学の世界への乱暴な介入に激怒した科学者でありました。この言葉に到達するために、アインシュタインは世界の宗教を研究したのはさすがと言うべきです。そして、「今、注目される宗教は仏教であろう」とも言及しています。

そこで、「仏教」の話に入りますが、仏教の教理や歴史をお話するわけはありません。近年、私が講演(法話)

の場面で、坊さんの私が話す言葉の「意味」と聴衆の皆さんがその言葉を聞いて「理解する意味」にズレが起こっていることに気がつきました。いくつかあるのですが、今回は一つだけお話しします。

まず、「世間」という言葉です。多くの皆さんは、「世間並みにしておけばまちがいない」「世間様に逆らうな」「世間体をたもつ」として、常識はずれなことを言ったりしたりしますと、「アイツは世間離れしとる」など、「世間」という言葉の意味を盤石なもの、間違っていないものという理解で使っておられます。しかし、坊さんが使う「世間」の意味は随分ちがっています。「世間虚仮、唯仏是真」と、天寿国繡帳(天寿国曼荼羅)という記録に聖徳太子の言葉が紹介されています。

直訳しますと、「世間というものは、むなしくして、仮のものだ。決して確かなものではない。それを越える仏(仏教)の世界こそ、ただ一つの真実の世界だ」という意味になります。聖徳太子は、「世間」を「不確かなもの」と理解しています。現代の私たちは「確かだ、盤石なもの」と理解しているのです。どこで、どう変わったのか。まるで違う意味に、

↳なつてしまつています。ですから坊さんが「世間と言うものは」と語りかけた時、聴衆はまるで違う想像のなかで坊さんの言葉を聞き理解しています。

このことに気がつくのに随分と時間がかかりました。「世間」の本来的な意味を次回お話しします。



### ちよつと能舞台へ

#### その1

猪飼 康夫

京都市内には、京都観世会館・大江能楽堂・金剛能楽堂など、幾つかの能舞台があります。能舞台は能楽を演ずる専用の舞台で、能楽は現存する世界最古の歌舞劇としてユネスコ世界無形遺産に認定されています。

能舞台には、能を見て楽しむ方や趣味のお稽古で訪れる方がおられます。また、古い伝統と現代感覚とのずれ、固有の決まりごとや慣例に馴染めず、足が遠のく方も少なくありません。玄人（能楽師）による演能会は有料ですが、素人の発表会（玄



→能楽「清経」(京都観世会館にて、ツレ：清経の妻。)



←舞囃子「敦盛」(京都観世会館にて(学生時代最後の舞台)。)

人の先生方も出演)は無料です。ときには気楽に、伝統芸能の一端を垣間見てはいかがでしょうか。

能楽師は、シテ方・ワキ方・狂言方・囃子方(笛、小鼓、大鼓、太鼓)の専門職に分かれ、それぞれに流派があります。演能は、シテ方が主導権をもつて公演されます。シテ方の流派には、観世流、宝生流、金剛流、金春流、喜多流があり、流派によってそれぞれの味わいがあります。

能舞台を初めてご覧になる方のご参考になればと思います、能楽用語を少しご説明いたします。

番組には、能、舞囃子、仕舞、素謡、連吟、独吟の演目と演者が記載され

ています。(番組をプログラムと外来語で言うには違和感があり、番組と言っておりません)

「能」は、舞・謡・囃子によって構成されており、能装束(能面)を付けて演じます。「舞囃子」は、能の一場面を紋付袴で舞います(素人会では袴なしもあります)。「仕舞」は、囃子を入れず、謡に合わせて舞います。「素謡」は、謡曲一番を通して、シテ・ツレ・ワキ・地謡など、役を分けて謡います。

「連吟」は、素謡の一部分を数名で謡い、「独吟」は、素謡一部分を一人で謡います。

細かなことはさておき、ちよつと能舞台をのぞいて見ませんか？

能楽堂に入ると、大きな屋根の付いた舞台が目にとまります。これは、能舞台が屋外にあった名残で、明治以降になって雨天でも演能ができるように、屋内に作られるようになったのです。本舞台は三間(約6m)四方あり、総檜作りで、足拍子などの音響をよくするために舞台の下に大きな瓶が幾つか埋め込まれております。

正面の羽目板は鏡板と呼ばれ、松の絵が描かれています。これは、本舞台の前の影向の松(神様が降臨さ

れる)が鏡板に映っているとの想定で描かれています。

見所(観客席)には、正面とワキ正面(向かって左側)とその間の正面があります。橋掛り(本舞台と楽屋を繋ぐ花道)の前には松が三本配置され、本舞台に近いほうから一の松、二の松、三の松と命名され、橋掛かりでの演技の位置決めが目印にもなっています。

左手奥の揚幕(五色の幕)の後は、鏡の間(出演直前に能面を付ける楽屋)があります。もう一つの楽屋への通り道は、本舞台右奥に設けられた、切戸口です。

舞台を取り囲んでいるのが白洲といわれる空間で、白い玉石が敷き詰められ、本舞台の正面には白洲梯子(キザハシとも)が取り付けられていますが演技には使用されません。



↑独吟「鶴亀」民家の能舞台にて、緊張の初舞台。

## 八幡俳句歳時記 7

## 近くにいた俳人たち(2)

—香里園

—続 西東三鬼

小笠原信

前号では、香里園に昭和23年末から31年まで8年間住んでいた三鬼さんの前半生の概略と、有名な「水枕」の句を紹介・鑑賞しました。

この8年間は、三鬼さんにとって、本業の歯科医として、俳句大結社「天狼」の支柱の一人として、俳人として大活躍の時期でした。大活躍は、超多用、超多忙を意味しています。

香里園の山手側は坂道が多く、敗戦前に住んでいた神戸と似ており気に入っていたと思います。が、香里園(寝屋川市)近辺を詠んだ俳句は、見逃しがあるかもしれません。見当たりません。すぐ近くに成田山不動尊があるのですが、それほど多忙だったのでしょうか。

多忙の理由の一つは、「天狼」創刊同人の橋本多佳子、平畑静塔らとの交流、俳句研鑽でした。橋本多佳子

は「月光に いのち死にゆく ひとと寝る」を詠んだ、四人の娘を持つ寡婦。三鬼さんと知り合った昭和21年当時47歳の美人。疎開で大阪帝塚山から奈良あやめ池に移住。三鬼さんより一つ歳上の人。この三人で奈良市の旅館日吉館で毎月泊り込みの句作句会。

ぼくは、俳句の専門家ではなく、単なる俳句愛好者だからこそ言えることがあります。

三鬼さんの俳句の特徴の一つは、難しい言葉を使っていないことです。一般の人にもほほわかる言葉を使い、詠んでいる景も想像できることです。有名な佳句で、まるで理解できないという拒絶の壁のような句はありません。さて、ぼくが選んだ三鬼さんの名句を紹介しましょう。

おそろべき 君等の乳房 夏来る

昭和21年の作。有名な句なので「君等」を巡って色んな解釈があるようです。もちろん、読者の特権で様々な解釈してよいのです。これは読者参加の「俳句の楽しみ」です。敗戦後なので、占領軍の女兵士たち(田舎育ちでぼくは見たことがあります)が「おそろべき」という説も、いやいや海女さんたちという説もあります。ぼく

は普通に、衣替えの時の街頭、例えば淀屋橋辺りの景だろうと思います。少し、うがって考えると、三鬼さんは当時現役の歯科医でしたから、日常的に前方斜め上から、時に魅惑的に邪魔にもなる乳房を沢山見ているに違いありません。セクハラと言葉もない時代ですから、腕に触れてもいたでしょうね。勝手な想像で言うと、写真で知っている風貌から、三鬼さんは、「女好き」だったと思います。さらに、この「君等」に多佳子の姿が重なっていた?

本筋に戻ると、「水枕」の句で、「ガバリ」が大成功であったように、上五の「おそろべき」がさすが! です。「おそろ」が「恐れ」なのか「畏れ」なのか、「畏怖」なのか、それとも「畏敬」なのか。漢字を当てなかつたのも見事な技ですね! 言葉の才人に脱帽します。「おそろべき」の一語で、俳句の多様性、多義性を獲得しています。名句と言われる所以でしょう。

中年や 遠くみのれる 夜の桃

この句は、昭和23年発行(香里園に来る前ですね)の第二句集「夜の桃」のタイトル句です。

「おそろべき」の句とほぼ同時期に作られたでしょうね。三鬼さんは、

文庫本『全句集』の「自句自解」で、「遠い所の木の枝」の桃などと、とぼけていますが、明らかに「桃」は乳房のことでしょう。

上五の「中年」は作者のことでしょうが、「みのれる」乳房も中年の女性を思わせませぬ。しかも、「夜の桃」です。からエロスの完熟。ここにも多佳子の影を感じると言えば、うがち過ぎでしょうか。

この句の成功は、「重く」とか「白く」と詠わず、「遠く」としたことですね。実際には、手を伸ばせば届くほど近くにあった! しかし、禁断の実です。三鬼さんには恋情も遊び心・演技性もあります。同時に「天狼」幹部の立場もある。三鬼さんが「遠く」に込めたのは、「誘いと我慢、そして自嘲」と感じます。

伝記作家のようですが、多佳子さんには、この句境が届いていたと想像します。「遠く」は実に見事ですが、おそらく三鬼さんには「技巧」という意識もなかつたと思います。



## 俳句を作ってみませんか！

「きずな」編集委員会

今、俳句がブームになっているのかどうかわかりませんが、毎週木曜日の19時〜20時に放映される毎日放送制作のバラエティ番組『プレバト』は高い視聴率だそうです。

登場するテレビタレントの俳句が「才能あり!」「凡作!」などと小気味よく判定される痛快さとともに、夏井さつき先生の的確な指導に納得させられ、自分も俳句に挑戦してみようかなという気持ちにさせられるからかもしれません。

本誌では、これまで小笠原信さんに、松尾芭蕉や与謝蕪村、そして近代俳句の西東三鬼の俳句を紹介してもらいましたが、俳句の醍醐味はそんな優れた作品を鑑賞するだけでなく、誰もがつくれることにあります。

## ◆俳句は難しくくない!

俳句には無季のもの、不定形な句もあります。通常は季語があり、五七五の定型で詠むことを原則とします。

言い換えれば、季語を使い、見た

もの、思ったこと、感じたことを五七五に表せば誰でも俳句ができるのです。

「きずな」11号が皆さんの手もとに届く4月は春です。そこで、春の季語を調べてみました。

## 時候や気象に関するもの

陽春、春べ、春暁、春の曙、春の宵、麗らかな、のどか、日永、暮れかぬ、春光、風光る、朧月、東風、黄沙(砂)、春雨、ばたん雪、はだれ、霞

## 地理に関するもの

春の嶺、山笑う、春の野辺、春泥、春の湖

## 動物

亀鳴く、蛙、蝶、胡蝶、蜂、春禽、嘯鶯、雲雀、雉、さより、めばる、田螺、にな、桜貝



## 植物など

花(桜)、椿、藪椿、オレンジ、草かぐわし、萇、蒲公英、紫雲英、クレソン、みつば、もずく

## 行事

灌仏会、雛祭り、開帳、遍路、卒業入学

## 衣・住・仕事

春コート、春のスクーフ、青ぬた、曇み鰯、干鰯、春灯、耕し、耕人、畑鋤く

## 遊楽・情緒

摘草、草摘み、凧、シャボン玉、ぶらんこ、風船、風車、朝寝(昼寝は夏の季語)、春眠、春愁

## ◆気取らず、素直に

拙句ですが参考になればと思い挙げてみます。

空き缶の浮く川蜷が泥を吐く

春の野にトラクター線る実習生

ウィルスの猛威に怯え春寒し

花の陰酔いに紛れて一謡

葉桜の峰に憩う石仏

## ◆夏の句を募集します

「きずな」12号は、7月中旬に発行されます。そこで、読者のみなさんから夏の句を募集することになりました。葉書もしくはファックスに俳句三〜五句をお寄せ下さい。誌上に載せる筆者名は仮名(ペンネーム)でもかまいません。

宛先：八幡市橋本新石

22・11

電話・FAX 075・983

・5278

※送り主の氏名・住所・電話番号もお忘れなく。

土井三郎

## 「八幡市で高齢者が生きる」

を考える

―データから見た貧困問題

神戸女子大学名誉教授

松崎 喜良

### ◆高齢化はさらに深刻化

2019年度の八幡市の人口は、7万1802人だが、この5年間で約2000人が減少した。さらに、約20年後の2040年には4万8000人まで減少すると予想されている（「八幡市人口ビジョン」2018年2月）。高齢化率は29・5%となる。人口は減少するが、世帯数は増えて、約3万2000世帯の半数は一人世帯、もしくは夫婦世帯の高齢者のみの世帯となり、高齢化率が高くなる。

平均寿命は伸び続け、2018年度の全国平均は男性で80・98歳、女性はさらに長く生きて87・14歳である。京都府は全国平均より長い寿命となっている。近い将来には、八幡市でも住民の多くが年寄りで一人暮らしの女性が目立つという地域となるが、果たして高齢者は安心して死ぬまで暮らし続けられるのか。

### ◆くらしを支えているのは年金

高齢者の生活を支えるのは年金である。2018年度の老齢厚生年金の平均受給月額が14万5638円で、老齢基礎年金の平均受給月額は5万5373円であった（平成29年度 厚生年金保険・国民年金の概要）。高齢者には年金で暮らしているようにしなければならないが、現実には給付を厚くするのではなく、逆に抑制する仕組みとなっている。マクロ経済スライドは、国の説明を聞いてもほとんどの国民は理解がでない。

2019年度は、物価は1%上昇だが、賃金は0・6%にとどまったので0・6%に引き上げるところ、マクロ経済スライドによる調整率（▲0・2%）と前年度に繰り越された未調整分（▲0・3%）があったため、0・1%しか引き上げられなかった。そして、この7年間で年金は実質6・4%も下がった。先進諸外国のように、年金制度で国民の老後の基礎的な生活を保障するものではなく、今後も実質的な引き下げが続く。

### ◆老後ほどの程度の生活費が必要か

総務省の平成28年家計調査年報によると、高齢夫婦無職世帯の生活費は、1カ月あたり約26・8万円がかかるが、収入は約22・1万円ではない。1カ月あたり約4・6万円の不足が生じる。年金の平均受給額は約20万円であるが、平均以下という人は半数を超え、基礎年金だけの高齢者、厚生年金の期間がわずかという年金生活者は多い。

それでは、憲法がいう健康で文化的な最低限度の生活費は幾らなのか。これは、生活保護法に基づいて計算される。八幡市で70歳以上の老夫婦が暮らす場合は、今年度の生活扶助費で10万8430円、家賃が必要な場合は、4万4000円の範囲内で住宅扶助費が支給される。単身の70歳以上の高齢世帯の場合は、6万9160円が生活扶助費で、家賃が必要な場合は、3万7000円の範囲内で住宅扶助費が支給される。生活保護利用者は税や社会保険料は免除となっており、医療や介護の自己負担相当分は、医療扶助や介護扶助があつて自己負担も発生しない。生活保護を利用しない高齢者は、税や社会保険料がかかるし、病気が

介護が必要となれば最低限の自己負担が必要となる。70歳以上の老夫婦が借家で暮らす場合で、医院にもかかわらず介護も必要がないとすれば、最低でも17万円の収入が必要となる。70歳以上の借家で暮らす単身の高齢世帯の場合は、最低でも12万円は必要である。病気になったり介護が必要となったりすれば、さらに自己負担が増える。どれだけの人が最低限を超える収入を得ているといえるのだろうか。

### ◆預金で生活費の不足が補えるか

2019年に金融庁は、「老後資金は2000万円不足」と報告したため、高齢者の老後の不安を大きくした。無駄遣いをせずに死ぬまで生きようと思えば、年金収入の赤字を補うために老後資金として2000万円を準備しなければならない。退職金は年々減ってきている。厚生省の調査では2017年の定年退職者の退職給付額は平均で1700万円、2000万円程度である。中小企業で働いていた人はこれにも達しないし、非正規雇用の人びとや自営業者には退職金はない。貯蓄非保有者は約30%も存在し、貯蓄があつても世帯主が60歳以上の世帯は、貯蓄へ

▽現在高が500万円未満というのが約2割もいる。貯蓄があったとしても、不意の入院や冠婚葬祭、住宅補修などで予定外の支出は避けられず、死を待たずに貯蓄はなくなることで起こる。貯蓄非保有者や貯金残高が少ない人は、少ない年金でどのように生きていけばよいのだろうか。老後資金が準備できない人にとって「無い袖を振る」ことはできない。

総務省統計局は、2016年度の「65歳以上の高齢者がいる世帯」の貧困率は約27%としている。単身世帯では男女に差があるが、男性では36.4%、女性では56.2%である。八幡市では、2017年で65歳以上の一人世帯は3576世帯（全体の12.2%）、夫婦世帯は4754世帯（全体の16.2%）である。貧困は目に見えるものではないが、市内の高齢世帯の約3割は貧困状態である。市内のスーパーで買い物する高齢者の多くは、キャッシュレス（金がない）なのでポイント還元やペイペイとは無縁である。消費税も引き上げられてひやひやしなからその日をしのいでいる。

#### ◆これからの社会保障・社会福祉

健康寿命が延びているが、平均寿命を全うするまでの残りの10年程度は、病気や介護で日常生活に制限を受ける。有病率は高くなり介護認定を受ける高齢者の比率も高くなる。

国民健康保険や後期高齢者医療制度、介護保険は、高齢者が増えれば増えるほど、保険給付費が増えて、その分保険料に跳ね返るので保険料は年々引き上げられる。

さらに、保険利用時の自己負担金も引き上げられる。介護保険は2000年に自己負担は1割でスタートしたが、今や2割負担や3割負担の人も出ている。後期高齢者医療制度も1割負担が見直され、2割、3割の負担をしなければ利用できなくなっている。

2012年に改正された社会保障制度改革推進法は、今後の社会保障の基本的考え方となる。まずは、自分で努力する。そして、人の助けが必要となれば地域で支え合うことが前提とされる。貧困は避けられないし、地域も衰退している。負担ができる人は金を出せば、医療や介護のサービスを利用できるが、負担できず、地域から孤立した生活をしている高齢者はあきらめなければならぬ

い。70歳まで働こう、年金は75歳からというが、働けない高齢者にとって、今の心配は解消されない。

#### ◆生存権はいずこ

健康で文化的な最低限度の生活ができていない国民は、国に対して生存権の実現を求める権利が保障されている。わずかな年金を受給していても、働いて少ない賃金を得ていても、最低生活費を満たしていない限り、生活保護では要件を満たしておれば最低生活費の不足分が支給される。生活保護を利用して高齢者は、医者にはかかれるし、介護費用も保障される。慎ましいが、餓死することもなく老後生活に一定の安心感を与える。

八幡市の生活保護利用世帯数は、2017年度で1056世帯であり、高齢世帯はそのうちの5割を超えているが、八幡市世帯全体の1.6%ではない。

生活保護費の負担割合は、国が3/4、京都府が1/8、八幡市が1/8となっているが、八幡市が負担した生活保護費のほとんどは地方交付税で補填される。生活保護のお金は、貯蓄に回ることなく市内で消費され地域経済を底支えている。

生活保護の利用をためらう高齢者は少なくない。権利行使を放棄する、ヘイトなどによるバッシングを恐れて権利行使をためらう、権利が行使できることを知らない、ガマンするなどが考えられる。生活保護利用者や生活に困窮する人に対する差別は許されることではない。

格差と貧困が解消されると、高齢者虐待や孤独死・困窮死が少なくなり、社会に安全がもたらされる。また、そこで暮らす人びとに老後の安心を与えることにもなる。



文学でたどる  
**八幡の歴史**  
 第9回

吉井勇と八幡 その2

土井 三郎

◆国破れて山河あり

前号で触れた通り、歌人・吉井勇が八幡にやってきたのは戦後間もなくの頃です。貧しさどひもじさに苛まれる日々でしたが、長い戦争から解放された安堵感と晴れ晴れとした喜びに包まれた歌が『残夢』に残されています。いくつか紹介してみよう。

あら、こらに

浦公英紫雲英花咲きて

敗けたる国も春は来にけり

穴と出でし蛇蛙等も思いうらむ

いくさなき世は

まこと梁しと

「蛇穴が出る」は、啓蟄の頃（仲春）の季語です。まさしく暗くて寒い戦争の時代が去り、平和な春がやってきたのです。



しづけさも

幾年ぶりの春ならば

目閉じ膝抱き夕雲雀聴く

ただし、勇が八幡を訪れたのは、すでに齢59歳。老境の域に達していたと言えるでしょう。だが、世の中の苦楽を味わい尽した者であれば、これからが人生を愉しむ時だと思っても不思議ではありません。

世のすがた

激しくかかふる年立てど

老のしづけさ梁してみてぬむ

◆八幡の文芸に触れる

吉井勇は、昭和23年12月に『残夢』を発行していますが、前年の6月に、『短歌風土記』を発行しています。その中の「山城の巻一」に八幡の文学にふれた短歌をいくつか残しています。

あはれなる女身を投げ

死にまよ

放生川のいにしへあはれ

言うまでもなく、謡曲「女郎花」をふまえた歌です。今のように松花堂庭園が整備されていなかったと思いますが、月夜田に住む勇は、直に女郎花の石塚を目にしているでしょう。



頼風のむかしがたりと

あはれみて

この古塚のかぎりふと見る

筑紫なる松浦鴻より来し僧が

折らむとしたる女郎花かも

なまがらと埋めし土より

生い出でし

女郎花ぞと思ひ悲しぶ

こころなき老と言はれむ男山

見つつ川邊に立尿として

勇は歌人でしたが、右の歌など諧謔性に富むもので、風狂の俳人を思わせるものがあります。もちろん、「男山」は『古今和歌集』にある「今こそあれ我も昔は男山さかゆく時もありこしものを」（読人不知）をふまえたもので、昔は大いに栄えた男ぶりであったが、今は男山を見ながら立ションをする哀れな老人であることだと自嘲気味です。



昭乗といへる隠者の住みし廬  
近くにあると

うれしみて寝る

右の石碑は、松花堂庭園の入口近くにあるもので、右の勇の歌が刻まれています。

その松花堂昭乗に寄せて興味深い短歌があります。

昭乗が元和の冬の吟行の

あとなどと思はむ

雨に濡れつつ

これは、昭和13年（1938）に

に掲示してありますので皆さんも目にされているのではないのでしょうか。  
吉井勇は、八幡在住の折、当時の文壇に名をはせた文学者や小説家との交友でも知られます。先程の文学碑の傍らには、それらの人々との記念撮影がパネルになっていますが、その中には谷崎潤一郎の姿が見えます。



谷崎といえば、橋本が登場する「蘆刈」で有名な作家です。「蘆刈」は、昭和7年（1932）、彼が47歳の時に発表された短編小説で、耽美主義

と王朝趣味の濃い作品です。

川る葦もなき冬ぞれの淀川を  
見むと幾たび

われやい往きし

橋本の廓の灯り夕凍みて

いまは蘆刈る人かげもなし

「蘆刈」には、幕末期に描かれた『川両岸一覽』の橋本図が登場します。次の絵がそれです。

男山にかかる月と橋本の街の灯りが絶妙な対比を見せる風景画です。



◆ 狐・いたちが

出没する八幡

吉井勇が八幡に暮らしたのは、戦後間もなくの頃です。当時の景観はどのようなものだったのでしょうか。

啄木の生れし村のわびしさを

思へとばかり郭公の鳴く

あけがたは

戌亥の森に午ごろは

辰巳の山に郭公の鳴く

戌亥とは北西、辰巳とは南東の方向を指します。勇の寓居する宝青庵から見て北西は男山、南東は美濃山に当たります。男山は昭和30年代の



高度経済成長期に団地が造成され、美濃山は、山手幹線が開通して以来、商業施設や近郊住宅が立ち並び、辺りは一変しました。ともかく、勇が棲んでいた頃は、わびしさはあるものの、郭公の鳴く、自然に恵まれたところであったことは確かです。

郭公だけでなく梟も飛来しました。

た。

このごろは

夜ごと庭木に来て鳴きぬ

何なくさめに來るか梟

八幡はことに「八幡狐」との称号があつたくらい、狐や鼬が出没する所としても有名だったようです。

八幡狐鳴くころ

近くなりけり

裏竹山に寒き月射し

八幡みらとゆくは

おもしろわがまへと

馳道きるやがて雨來る

要するに、勇が居住する月夜田をふくめ八幡の周辺部は農村地帯だったのです。

鳴く聲の

あらこらにして日の暮るる

八幡は牛の多きところか



◆ 八幡の街を詠む

八幡の周辺部は農村地帯であつても、八幡の南北を走る旧街道沿いは都会の様相を示していたようです。

吉井勇は、元和元年（1615）

に松花堂昭乗が八幡の町を俳諧に詠んだことに触発されたのか、同じように街中の風情を短歌に詠んでいます。

但し、町名がないので、どの街を詠んだのか定かではありません。

律宗の寺のまへなる潦

夕凍てのして足をすべらす

ここで言う律宗寺院は善法律寺でしょう。八幡の町は低湿地の所が多く、「水害の町」の汚名もありました。

牌の藥賣る看板もすでに暮れ

八幡古町夕ともしせる

町古りて

なりはい寂し夜に入れば

店戸を下し早寝すらしも

焔魔堂過ぐれば

月ものぼり來て

博労宿の濁みし唄ごと

『男山で学ぶ人と森の歴史』（平成17年、八幡市教委刊）の「昔のやわたの町並み」によれば、八幡清水井に「エンマドウ」が見え、隣は精肉店です。「馬塚」（三宅碑）も存在します。同書には、「東高野街道の走上りから南のシミズ（志水）の道沿いには商家が多く、枚方・長尾・牧野や田辺方面からも買い物客があり（後略）」と記されます。戦後間もなくの頃とは違うかもしれませんが参考になるようです。

原発に依存しないで  
省エネ・再エネの利用を！

NPO法人市民共同発電を

ひろげる城陽の会

古家野辰也

コロナウイルスの感染が広がり、各種のイベントの中止・延期の動きが広がる中、第12回八幡市民文化サロンは予定通り3月10日、八幡市民協働活動センターにて実施しました。当日は朝から雨にも見舞われ参加者は少なかつたですが、充実した内容で、学ぶことの多い集いでした。

この日は、9年前に東日本大震災が起こり、福島の原子力発電所が壊滅的な被害にあった前日です。古家



野さんと仲間のみなさんは、福島原発の大惨事の後、原発に頼らないエネルギーが必要であると痛感。一方で、化石燃料がCO<sub>2</sub>を増大させ、地球温暖化を助長させていることから、原子力や化石燃料を使うエネルギーではなく、省エネを進め、再生可能なエネルギーの発電を市民共同で広げる取り組みを城陽で進めてこられました。

講演の概要と質疑されたことを紹介します。

#### ◆地球温暖化って何

産業革命のころより、平均気温が0・85℃上昇。そのことで、大雨洪水、局所豪雨、土砂崩れが増えてきました。1901年から2010年の間、海面は19cm上昇。2100年までには最大82cm上昇すると予測され、消滅の危機にさらされる島々も増えました。また、温暖化は、生態系の深刻な異変をもたらしました。

日本で排出される温室効果ガスの90%以上は二酸化炭素で、化石燃料を燃やすことで排出されます。これらの気体は太陽から放射される赤外線を吸収し、再放射する性質をもっています。再放射により地表の大气が暖まり、温室効果Ⅱ地球温暖化を

もたらしているのです。

すでに、産業革命以降、0・85℃気温が上昇することで、最近、異常気象が様々な災害を引き起こしています。現時点までに排出されてきたCO<sub>2</sub>の量でさらに、0・65℃は確実に上昇すると言われます。これまでの上昇分と合わせると1・5℃の上昇は確視されるのです。

ただし、今から全世界が共通して、今以上に温暖化対策をすれば2℃未満には抑えられる可能性があり、「パリ協定」の目標とされました。さらにすすんで1・5℃未満に抑えるよう世界各国では努力しています。そして、各国、各都市、各企業で、2050年までに実質CO<sub>2</sub>排出ゼロをめざす動きが広がっています。

#### ◆温暖化を防ぐ七つの方法

続いて、古家野さんは誰もが実践できる具体的な提案を提起しました。

##### ①シャワーを一分短くする！

3人家族で年間8568円の節約

##### ②30%節水のシャワーヘッドに交換！

3人家族で年間3万7956円の節約

##### ③暖・冷房時間を1時間短くする！

##### ④窓や床に断熱グッズを！

##### ⑤夏は日光を窓に直接当てない！

窓の外によしず、すだれ、日よけテント、シェード、ゴーヤカーテンなどを設置し、直射日光による熱を室内に入れない

##### ⑥白熱電球をLED電球に！

白熱電球6個のシャンデリアをLEDに交換すれば、1日6時間、365日使うと仮定するとそれだけで1万5595円得になる

##### ⑦冷蔵庫を省エネ型に！

年間消費電力800KWの冷蔵庫を年間消費電力400KWに交換すれば年間約1万円の得になる

要するに、省エネは家計にもプラスになるのです。



◆再生可能エネルギーで

温暖化の解消を

再生可能エネルギーとは、太陽光、水力、風力、バイオマス、地熱等を指し、一度利用しても短期間に再生が可能であり、資源が枯渇しないエネルギーのことです。化石燃料と違い、温暖化の原因となるCO2をほとんど排出しません。また、輸入に依存しなくてもよい特質があります。電気事業連合会のデータによると、次の調査結果が示されました。

2010年	火力発電	61.8%
	原子力	28.6%
	再エネ	9.6%
↓		
2014年	火力発電	87.8%
	再エネ	12.2%
↓		
2017年	火力発電	76.4%
	原子力	3.0%
	その他	5.3%
	再エネ	15.4%

◆市民共同で自然エネルギー

発電を！ 城陽の会の歩み

2011年3月11日の東日本大震災による福島原発の事故は、これまでのエネルギー政策の転換を迫りました。同年8月25日に原発ゼロをめざす城陽の会が発足しました。

翌年の1月13日には、「脱原発、再

生可能エネルギー中心の社会へ」と題して和田武先生による講演会を開催し、240名の参加者が集まりました。同年4月には「おひさま発電in城陽懇談会を開催。きょうとグリーンファンドのアドバイスをいただき、9月には「原発ゼロをめざす城陽の会を母体に、「市民共同発電をひろげる城陽の会」を発足させました。

以来、映画会・学習会等を開催し、NPO法人資格を取得。2013年からは個人宅おひさま発電ゼロ円システム事業を始めました。これは同城陽の会が初期費用を負担し、設置者は9年間、会へ管理費・利息分を含めて支払うというものです。

2013年に第1号機を設置して以来、11号機まで普及し、53・37KWの発電量にいたっています。

◆話し合われたこと

講演の後、質疑応答がなされ、以下の結論に達しました。

ここ最近、脱原発や再生エネルギーを目ざす動きが鈍ってきました。これは、政府が長期的スパンに立つことなく、目先の経済優先の立場に立っているからです。

先ごろ開かれたCOP25で問題になった日本の石炭火力発電所は二酸

化炭素ばかりでなく有毒な硫酸化物をも排出し続けています。そんな中で、私たちができることは、それらの企業からではなく、クリーンなエネルギーを提供している企業体から電力を買うことを選択肢を持つことです。

政府の動きが鈍い中、二酸化炭素

排出実質ゼロを表明する自治体は16都府県になり、地産地消型のエネルギーの需給を目指す自治体、企業も生まれてきています。それらの動きに確信をもって省エネ・再エネ利用の社会を実現する取り組みをこれからも続けたいと語り合いました。



協賛金のご協力をお願いします

(銀) 009408196292 NPO法人22世紀八幡ルネッサンス協会  
 (郵) 009408196292 NPO法人22世紀八幡ルネッサンス協会  
 (銀) 京都銀行男山支店 普通預金 4165224 NPO法人22世紀八幡ルネッサンス協会

NPO 法人 22 世紀八幡ルネッサンス協会主催  
2020 年度

## 八幡市民文化サロンのご案内

今年度は、以下のラインナップで実施します。これまで通り奇数月に開催しますが、**第三火曜日の午後時間帯**になりました。みなさんふるってご参加ください。

### 講師とテーマ

5月19日 (火)	伊藤錚治さん「まちの清掃23年」 街の清掃に取り組むようになった動機はなにか。23年間清掃をすることで見てきたものは何か。
7月21日 (火)	猪飼康夫さん・美和子さん「朗読と謡、笛で奏でる「敦盛」」 康夫さんは謡歴半世紀、美和子さんは朗読歴四分の一世紀。息のあったところをご披露します。
9月15日 (火)	空あかねさん「シャンソンとパントマイムの昼下がり」 あかねさんは、喫茶店などで時々ライブを行っています。八幡橋本の歌姫の登場です。
11月17日 (火)	小笠原信さん「みんなで俳句を楽しみましょう」 俳句の楽しみ方をお話します。そして、みなさんと実際に指を折り、句作りをしてみましょう。
2021年	
1月19日 (火)	土井三郎さん「八幡の歴史を彩った人物（中世編）」 源頼朝や足利尊氏、楠木正成、後醍醐天皇、叡尊、世阿弥などから八幡の歴史をひもときます。
3月16日 (火)	八幡排水機場の見学—八幡の内水問題を考える 八幡森垣内の排水機場のメカニズムを見学し、水害に対する備えを学びましょう。

会場 八幡市市民協働活動センター (3月の企画を除く)

時間 すべて午後2時～4時

参加費 300円

問合せ：土井三郎  
(075-983-5278)

## 編集後記

今年になってコロナウイルスの猛威に悩まされ、「木津川クリーン大作戦」も中止となりました。実行委員会の集約によれば、今回の参加申し込みは、約60団体で参加予定人数も一〇〇〇名を超えたとのこと。実行委員長より、「活動が広がりを見せていることに確信をもち、川をきれいにし、自然環境を守る想いを大切にして、今回は大きな成果を得られるよう皆さんとともにがんばりたい」とのメッセージが寄せられました。「きずな」11号は、これまで以上に充実した内容になりました。歴史や自然、福祉の分野等で読み応えのある内容をお届けできたと思います。これからも、八幡に暮らす人びとの英知や知見とともに交流し、住んでよかったと思える町づくりに貢献したいと考えます。感想やご意見など気軽に寄せてください。

—「きずな」編集委員会—